

令和 2 年大磯町議会

9 月定例会総括質疑（9 月 8 日）

質問議員	質 問 事 項
1 2 番 石川 則男議員 (40 分) 9:05～9:45	1. 大磯港賑わい交流施設について 「大磯港賑わい交流施設」は「地域の農水産物などの販売や飲食の場の提供、町内周遊観光の拠点」が建設目的と言われている。 農水産物の販売が始まるまでに漁業や農業に対し、どのような振興策を取ってきたか。また、令和元年度の成果はどうであったのか。 2. 将来負担額について 9 月議会初日に令和元年度決算における将来負担比率の説明があり、将来負担額は約 190 億 6 千 7 百万円とのことであった。 将来負担額が年々増えているがどう考えているか。 税金を納めているのは町民である。厳しい状況を真摯に説明することの方が町民の信頼を得られると考えるが如何か。
2 15 番 柴崎 茂議員 (40 分) 9:45～10:25	昨日（9 月 1 日）の 9 月定例会初日、町長提案の議案の審査の合間を見て、議案最後の令和元年度決算書を拝見した。まず一番危惧したのは、監査委員が町長に提出した意見書のまとめで「558 人、人口が増加した」とあり、さらに「0 歳～14 歳、30 歳～54 歳までの子育て、働き盛り世代が増加している」とある。さらに続けて「このことは『子育て』『教育』『健康』等の各種施策による成果と考えられる」としている。そこでまず尋ねたいのは、監査委員が言う「各種施策の成果と考えられる」とする根拠は、町から出た情報だとすれば、その話の基はどのようなものであったのかを示してほしい。 また、一般会計の令和元年度の債務残高は令和 2 年度予算書の公債費推計一覧表によれば 84 億 3,958 万 3,000 円になっているが、令和元年決算では年度末で 82 億 6,385 万円となっている。この差異は、不用額として減ったものなのか、それとも繰越によって発生していないだけなのか、だとすれば原因が発生した時点でカッコ付けでも概略予想を表示すべきではないのか。 以上 2 点を尋ねる。 （2040 年には、高齢人口のピークであること、大磯町人口ビジョンに基づく点について、毎年変わることのない歳出実績に対し、将来を考えた歳出になっていないのではないのかという点について、再質問する。）

3 10 番 渡辺 順子議員 (40 分) 10:40～11:20	令和元年度決算に対する総括質疑 令和元年度予算は中崎町長 3 期目の当初予算であった。明治記念大磯邸園整備事業に 13 億 1,541 万円、大磯港みなとオアシス推進事業に 3 億 4,729 万円、西久保地区休憩施設整備事業 2,008 万円、東部子育て支援センター整備事業及び同運営事務事業 2,843 万円など、大きな事業が計上され、過去最大の 108 億 5,100 万円の予算となった。以下の点を質問する。 1. 一般会計は当初と補正予算を加え、予算どおりの執行はできたか。 2. 財政規模は前年度を 0.001 ポイント下回り、実質収支比率は 12.6% で前年度 3.5 ポイント上回り、経常収支比率は 90% で前年度を 0.8 ポイント上回った。また、実質公債費比率も前年度を 0.2 ポイント上回った。この状況をどのように総括するか。予算に無理はなかったか。 3. 大きな事業が控えている中で、大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業の測量等の業務委託料 546 万 4,000 円は将来約 4 億円を見込んでいる事業であり、1 度立ち止まり町民の理解を得て見通しがたってから進めるべきとの理由で、予算特別委員会では本事業を削除する修正案が提出され可決された。しかし最終日の本会議で否決となった。町長はこのことをどのように受け止めたか。その後本事業をどのように進められ、その成果はあったか。 4. 大磯港みなとオアシス推進事業がスケジュール通りに進まなかった理由は何か。また本事業を推進するためにどのような努力をされたか。 5. 大磯町が福祉施設を利用している法人に立ち退きを求める裁判で地裁の和解案を受け入れない年でもあった。長引く裁判によって作業所で働く障がい者や保護者に将来の不安を与えた。また東海大学大磯病院との裁判もあったが、誰もが安心して暮らせる町であったと言えるか。 6. 予算案に対する総括質疑で幼児教育・保育の無償化に伴う歳出額として 3,300 万円、無償化に伴う歳入約 2,600 万円を見込んだとの答弁であった。見込みどおりの執行はできたか。また、幼児教育・保育の無償化によって待機児童の増加と保育の質の低下が懸念されると質問したが、どのような状況であったか。 7. 環境政策については省エネルギーや再生可能エネルギーの活用促進を継続的に行うとの答弁であったが、何か実績はあったか。
---	---

4 1 番 鈴木 京子議員 (40 分) 11:20～12:00	令和元年度の決算について、5 項目にわたり総括質疑を行う。 1. 財政運営について (1) 地方交付税制度における基準財政需要額、基準財政収入額、臨時財政対策債の起債上限額と起債の減額の理由、留保財源の金額は、令和 2 年度当初見込額と比較し、財政運営上の工夫はどうだったか。 (2) 不用額は、一般会計では 4 億 8,183 万 8,323 円、介護保険事業特別会計 2 億 7,347 万 6,987 円だった。主な要因は。 (3) 契約行為について、電子入札の予算総額と落札額の総額及び平均落札率は。 2. 総合計画の最終年度直前の決算だが、後期基本計画の目標に対する評価は。 3. 主な事業として掲げた「(4) 資源を活かした特色ある観光の推進」として、観光事業に 17 億円以上の予算を組んだが、執行額と成果をどうみるか。 4. 町民の生活に密着した要望への対応を、どう総括するか。 5. 職員の働き方について 5 会計における時間外勤務手当の予算額と執行額、執行率は。また、執行率をどう総括するか。働き方改革は進んだか。
---	---

4 名 15 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。